

まとめて報告をお願いします。
・本日6.9 13時30分よりSAA
チームの引継ぎがあります。
・6.3発行の埼玉新聞に当クラブ
会員、野村證券 小林 弘明会員の
記事が掲載されました。皆様、ご
一読ください。



お客様ご挨拶

■公益社団法人 さいたま観光国際協会
会長 筑波 伸夫様

JR大宮駅 駅長を辞めてから10年、6
年前にさいたま国際観光協会に。さい
たま市では大宮ががんばって認知さ
れ、若い人が入ってくるよう組織も代
替わりしないといけないと思います。
地域を元気にしたい！

さいたま市のために役に
立つようがんばります。
今後とも大宮西RCがま
すます発展するよう祈念
いたします。



委員長報告

■次年度幹事 平野 友紀

ロータリー手帳が届いております。ぜひ
お持ち帰りください。



次年度方針発表

■会長エレクト 横溝 一樹

私は、これまでの歴代の会長のよう
に、明確なビジョンや独自の強み
があるわけではありませんが、自分
なりに会長年度をどう過ごすか、何
を大切にするかということを模索して
きました。

そこでたどり着いたのは、「基本に
立ち返る」ということでした。

すなわち、ロータリーの基本理念
である「親睦」と「奉仕」。この二つに
立ち返ることで、新しい広がりが見えてくるのではないかと
考えました。

親睦でいえば、ただ顔を合わせるだけでなく、お互いをも
っと深く知る機会にしていきたいと思っています。共通
の趣味や知人、思いがけない縁などを発見することによ
って、関係性はより深まります。そういった親睦を通じて自
然と「協力意識」や「共感」が生まれ、奉仕につながって
いく。そして、すべての会員が何らかの形で奉仕に関わる
ことができる。これが、次年度において目指す方向性となり
ます。



会長方針概要

- ・ 知ることから始める
 - ・ 自クラブを知る
 - ・ 他クラブを知る
 - ・ ロータリーを知る
- ・ 若い世代との交流と協働
 - ・ 世代を超えた協働と、新たな参加経路の開発
- ・ 地域のニーズに応える新規事業
 - ・ 新規事業の立ち上げ
 - ・ 地域社会との対話と連携
 - ・ 実施から評価・検証まで
- ・ 持続可能な奉仕の形の模索
 - ・ 新たなクラブビジョン策定
 - ・ 行動計画の設定

その第一歩として大切にしたいのが、「知ること」です。
ロータリーについて知る、自クラブについて知る、そして
会員一人ひとりが互いについて知る。

私自身、就任にあたって他クラブの例会や奉仕事業、
セミナーなどに参加し、知らないことが本当に多いと感じ
ました。そんな中、ロータリーに関する様々な事を学んで
いく過程で新しいアイデアも生まれてくる、そういった経験
を皆さんにしていきたいし、またそうした機会を提供
していきたいと考えています。

まずは、自クラブを知ること。

大宮西ロータリークラブの歴史や、これまでの奉仕事
業、会員それぞれの職業や趣味などを共有し合い、新た
なつながりを生み出しつつ、奉仕に対する関心分野の共
有や、新たなアイデアの創出の機会とすることを目指し
ます。

次に、他クラブを知ること。

地区内外、そして海外のロータリークラブの取り組みに
も積極的に触れ、広い視野で奉仕の可能性を探ってい
きたいと思います。他クラブとの交流例会、国内他地区
のクラブと友好な関係を構築するといったことにもチャ
レンジできればという思いもあります。また、次年度は「地区
リーダーシップラーニングセミナー」の主管クラブとなるこ
とから、地区内各クラブとの交流を一層深めるチャンスで
もあると捉えています。

そして、ロータリーそのものを知ること。

ロータリーの理念や仕組み、ルール、そして変化する社
会の中での役割を学び直す機会を設け、活動への共感
と参加意欲を育てていきます。

また、世代を超えた知見の共有も重要と考えます。

新人会員にはクラブの伝統や理念を伝え、ベテラン会
員には若い世代の活動を紹介し、中堅会員には新たな
関心分野を開いてもらう。それによりクラブ全体もより活
性化していくのではないだろうか。

さらに、再設立したローターアクトクラブを起点に、青
少年交換学友や米山学友、インターアクト卒業生との連携
も深め、世代を超えた協働と、新たな参加経路の開発に
つながりたいと考えます。

これらはまさに、「よいことのために手を取りあおう -
UNITE FOR GOOD-」という、RI 会長メッセージに合致し
た取り組みであると考えています

会員それぞれキャリアや年代が違って、まだまだ知ら
ないことや踏み込んだことのない分野があるはずなので、
まずは会員の皆さんに広くロータリーのことを知ってもらい、
そこからさまざまな発想を生み出していただきたいと思っ
ています。大宮西ロータリークラブには、多様な世代・職
業・経験を持つ方が在籍しています。そこには、まだ引き
出されていない可能性があると感じています。

その可能性を、親睦を通じて引き出し、奉仕に活かす、
そして次年度の大きな挑戦である、地域のニーズに根ざ
した新しい奉仕事業の立ち上げにつなげる。これが次年
度の大きな目標になってまいります。新規事業実施にお
いては、会員の多様な知見と発想を活かし、地域社会や
学校、行政との対話を通じて構想から実行・評価まで一
貫して取り組んでいく方針です。

簡単ではない取り組みだと思いますが、会員皆様の力
を結集して実現させていきたいと考えておりますので、何
卒お力をお貸しください。

最後に、次年度は新たなクラブビジョンのもと、今後3
年間の行動計画の第一歩を踏み出す大切な年でもあり
ます。

「親睦を通じて広い視野と他者を思いやる心を育み、
地域社会と協力してニーズに即した事業を展開し、誰も
が参加したくなるような魅力あるクラブを実現する」

このビジョンと、「よいことのために手を取りあおう -
UNITE FOR GOOD-」という国際ロータリー会長のメッ
セージのもと、一年間、皆さまと共に活動し、大宮西ロー
タークラブとして行うべきことの実現に尽力する、そういった
会長でありたいと思います。

どうか温かいご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し
上げます。